オカピの飼育環境改善の取組みについて

○藤澤　加悦
（横浜市立よこはま動物園）

オカピはコンゴ民主共和国のイトゥリ熱帯雨林にのみ生息する動物である。当園では 1997 年より飼育を継続しており、飼育環境に関しては海外のオカピ飼育園館からの情報と、SSP が発行している『HUSBANDRY GUIDELINES FOR THE OKAPI』を基に健康管理が行われてきた。四季のある日本で飼育を行っていく上で、気温及び湿度管理が非常に難しく、加えて蹄の管理も課題となっている。今回は2023年4月より飼育環境の改善を目標として、獣舎内及び屋内展示場の温湿度管理の徹底、また一部の床材を変更した。その後のオカピの蹄及び皮膚の変化について報告する。